

注3

大学番号：私307

[平成23年度設置]

計画の区分：学部の学科の設置

注1

届出

第一工業大学 工学部 航空工学科

注2

【届出】設置に係る改善意見等対応状況報告書

学校法人都築教育学園

平成30年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 教学課

職名・氏名 課長補佐 イワキ 岩城 シゲハル 繁治

電話番号 0995-45-0640

（夜間） 090-6895-2685

F A X 0995-47-2083

e-mail kyougaku@daiichi-koudai.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に

() 書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学部名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・大学新設の場合：「〇〇大学」

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成30年3月26日付事務連絡「履行状況報告書

の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

工学部

<航空工学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. AC対象学部等を含む大学等の状況	2
3. 教員組織の状況	3
4. 前年度のAC調査において付された意見への対応状況	4

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人都築教育学園

(2) 大学名

第一工業大学

(3) 大学の位置

〒899-4395

鹿児島県霧島市国分中央1丁目10番2号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
工学部 航空工学科 学士(工学)	工学関係	4 年	60 人	年次 人	240 人	

- (注) ・定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
・学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
・「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

2 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学の名称	第一工業大学							備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開 設 年 度	所 在 地
	年	人	年次人	人		倍		
工学部								鹿児島霧島校地（キャンパス） 鹿児島県霧島市国分中央1丁目10番2号 東京上野校地（キャンパス） 東京都台東区上野7-7-4 東上野4-26-5
航空工学科	4	60		240	学士（工学）	0.61	平成23年度	鹿児島霧島校地（キャンパス）
情報電子システム工学科	4	150		600	学士（工学）	1.03	昭和43年度	鹿児島霧島校地（キャンパス） 東京上野校地（キャンパス）
機械システム	4	50		200	学士（工学）	0.57	昭和43年度	鹿児島霧島校地（キャンパス）
自然環境工学科	4	50		200	学士（工学）	0.80	平成23年度	鹿児島霧島校地（キャンパス）
建築デザイン学科	4	50		200	学士（工学）	0.68	昭和49年度	鹿児島霧島校地（キャンパス）
（注意）課程認定等により専攻・コースに入学定員を定めている場合は、専攻・コース別にも記入してください。								
（注意）学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。								
大学の名称	〇〇短期大学							備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開 設 年 度	所 在 地
	年	人	年次人	人		倍		
幼児教育科	2	100	-	200	短期大学士（幼児教育）	1.12	平成21年度	鹿児島県霧島市国分中央1丁目10番2号

- （注）・本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が設置している全ての大学（学部、学科）、大学院（専攻）及び短期大学（学科）（AC対象学部等含む）について、それぞれの学校種ごとに、平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等については、必ず記入するとともに、下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

3 教員組織の状況

<工学部 航空工学科>

(1) 設置基準上の必要専任教員数

現在（報告書提出時）における設置基準上の必要専任教員数	うち、現在（報告書提出時）における設置基準上の必要教授数
8	4
名	名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況				
教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)
6	2	0	0	8	7	3	6	0	16
(6)	(2)	(0)	(0)	(8)					

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。

(3) 年齢構成

年齢構成	
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記(B)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数
教授 65 その他 60 歳	7 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成30年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(4) 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告書提出時）の状況(B)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{16}{8} = \boxed{200} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(5) 現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告書提出時）の状況(B)}} = \frac{7}{16} = \boxed{43.75} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

4 前年度のAC調査において付された意見への対応状況

意見		履行状況		未履行事項についての実施計画
○ 工学部航空工学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見	平成26年度、航空工学科に開設したパイロットコース、航空整備士コースの効果により、平成27年度入学者数は47名となったものの、平成28年度29名、平成29年度32名と低迷した。この状況を改善すべく、特に30年度は伸び悩んでいる航空エンジニアコースの学生募集に関し、航空工学科で特別チームを編成し、募集活動を実施した結果、40名の増加に転じ、改善が見られた(30年度のみで見ると67%)。	未履行	30年度の改善の要因分析を行い、31年度以降も、改善要因を組み込んだ航空特別チームによる学生募集活動を行い、伸び悩んでいる航空エンジニア育成のコースの学生確保のために、受験生や保護者に社会的ニーズの高さや将来性についての説明を強化し、改善に努めていく。
○ 工学部航空工学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。	改善意見	平成26年度開設のパイロットコース、航空整備士コースの教育は安全を最重視する目的から、実務経験豊富な教員主体で構成しており、その目的から他コース、他学科とは異なる運用としているものの、昨年度末日で退職年齢を超える教員が3名退職し、今年度2名、非常勤1名の若返りを図ることができた。	未履行	30年度は多少の若返りが果たせたものの、実務経験豊かな教員の退任で、特にパイロットコース、航空整備士コースの教育において多少継続性が懸念される部分もあるが、従来の教員で補完することにより、学生教育に支障が出ない様に対応して行く。
○ 同一設置者が設置する既設学部等(工学部機械システム工学科、建築デザイン学科)の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見	機械システム工学科は、学生募集を強化しH28年度入学者数の21名に対して、平成29年度は37名と改善したものの平成30年度は29名と後退したが、オープンキャンパス、ガイダンス等興味を持っていることについて手ごたえを感じている。 建築デザイン学科は平成28年度の26名から、平成29年度は30名、更に平成30年度は42名と着実に伸びている。	未履行	両学科とも、求人倍率は7~10倍であり、社会的な人材ニーズは高い。 機械システム工学科は、高齢化社会に対応する平成28年度から新設した医療福祉ロボットコースの将来性を公開講座、オープンキャンパス、出前授業を通じ受験生や保護者へ訴え、更なる学生募集に結びつくように努める。 建築デザイン学科も平成29年度の学生募集の取り組みを継続実施していく。

- (注) ・前年度の設置計画履行状況調査の結果、**当該大学に付された意見を全て記入**するとともに、付された意見に対する履行状況等について具体的に記入してください。その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。なお、未履行事項がある場合は、今後の実施計画を具体的に記入してください。
- ・「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。